

学会ニュース 2025年

当院の医師は日常の医療だけでなく、論文や
学会発表を通じて、全国的にも活躍しております。
その一部をご紹介します。

古屋良太 医師

学会：第112回日本泌尿器科学会総会

発表演題名：Examination of the relationship between urinary status and frailty after PVP.

(PVP術後の排尿状態とフレイルの関係)

PVPで排尿が良くなると、フレイルも良くなるという発表。排尿がよくなると日々の活動性もあがり、体全体がよくなります。

桑原勝孝 医師

学会：第14回PVP研究会

発表演題名：簡単にできるXPS-PVPによる射精温存術式

PVPは射精機能を温存することもできます。その術式を教育的に発表しました。

学会：第14回PVP研究会

発表演題名：【シンポジウム】高齢者におけるBPHの治療戦略：PVP vs MIST

高齢者にはPVPが良いのか、新しい手術のMIST (Rezum)が良いのか。PVPの方が優れているという発表です。

学会：第32回日本排尿機能学会

発表演題名：前立腺肥大症に対するPVPはフレイル患者にも安全に施行でき、フレイルも改善する

PVPはフレイルの患者さんにも安全に施行できるし、手術後は排尿だけでなくフレイルも改善するという発表です。

渡邊望 医師

学会：第39回日本泌尿器内視鏡・ロボティクス学会総会

XPSによる射精温存術式PVPの治療成績

新しい機種であるXPSによるPVPを用いて射精機能を温存した術式での成績。約95%と高い温存率を達成。